

戦気 NO-18

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



7月13日 後楽園ホール 福本雄基 6 R T K O 勝利!

日本スーパーフライ級10位の福本雄基の第11戦はキュービー金沢選手(青木ジム: 11勝(5KO)4敗)。
 福本は日本ランカーになっての初戦。福本のフットワークは見事だった。金沢選手は福本の動きに対応できなかった。
 1ラウンドからレフリーストップとなった6ラウンドまで終始福本がリードした。TKOタイムは6ラウンド1分09秒。福本は4ラウンドまでの戦闘スタイルを5ラウンドからアウトボクシングに変え金沢選手と対応した。
 金沢選手の右頬は腫れ上がりレフリーがドクターチェックを入れたが、金沢選手の右目は塞がり見えなかっただろう。福本の完勝だった。



6ラウンド 果敢に攻めレフリーストップを呼び込んだ

三谷会長のコメント

川瀬は7年ぶりにリングに上がり、KO勝ちしたのだからたいしたもの。以前は「コブラ川瀬」というリングネームだったが、まさに鎌首を立てたコブラが獲物を襲う感じだった。
 福本は眼が良いし動きが良い。相手のパンチをもらわないし、動きが速いので相手がついてこれない。レフリーが止めるタイミングを自分で作っていった。100点です。
 加藤は打たれたが打ち勝った試合だった。対戦相手は強い選手だが、1ラウンドに加藤の左フックが決まった時に大丈夫だと思った。福本がバレー部のキャプテン、加藤がラグビー部のキャプテンという西船コンビはいいね。
 慶行は体調管理をキチンとしなければいけない。負けた原因をハッキリさせ、それを克服し次に進んでいこう。

小椿康晃 デビュー戦 T K O 勝利

6月27日、小椿康晃はデビュー戦を勝利で飾った。対戦相手は鈴木将之選手(HS山上ジム: デビュー戦)。小椿は1ラウンドから積極的に打って出た。後半にはスタンディングダウンを奪う。しかし、2ラウンドに反撃を受け、かなりのダメージを負ったが、3ラウンドに入り再び盛り返し2度目のダウンを奪い、4ラウンドTKOでデビュー戦勝利!!

川瀬伊達男 7年ぶりKO勝利

7月2日、川瀬伊達男が7年ぶりにリングに帰ってきた。対戦相手は小澤剛選手(18鴻巣ジム: 8戦7勝(1KO)1敗)。
 川瀬は久しぶりのリングとあって1ラウンド、2ラウンドは押されぎみであったが、3ラウンドに入るとパンチが当たりだし2分09秒、右フッカー閃、倒れた小澤選手の上にタオルが舞った。小澤選手はそのまま担架でリングから運び出された。川瀬の戦績は15戦8勝(5KO)6敗1分となった。



ごんごちゃんは見た!!

伝説のプロ野球打撃コーチから高校教師に転出した高島導宏さんをモデルにNHKドラマ「フルスイング」が放送されたのは昨年1月でした。高島さんは伸びる選手の共通点として、素直であること、好奇心旺盛であること、忍耐力があり諦めないこと、準備を怠らないこと、几帳面であること、気配りが出来ること、夢を持ち目標を高く設定できること、を挙げています。野球だけでなくボクシングにも他のスポーツにも共通することです。

加藤健太 6 R 判定勝ち(7/13)



ハードパンチャー加藤健太の面目躍如といえる試合内容であった。対戦相手は塩野翼選手(角海老宝石ジム6勝7敗)。
 1ラウンドに加藤の強烈な左フックが塩野選手の顔を捉えた。この1発で塩野選手の表情が一変した。加藤のパンチの激しさを実感したのである。4ラウンドを終えたインターバル時、加藤は塩野選手のパンチがよく見えていると言っていた。壮絶な打合いに加藤が打ち勝って判定勝ち。

第66回 東日本新人王第3回戦 岩井 大 不戦勝(7/13)

岩井大は対戦相手の鈴木義行選手(マナベジム)が前日計量をパスした後の鍼治療事故により緊急手術を行ったため試合を棄権し不戦勝で来月19日の準々決勝に進んだ。

小林慶行 4 R 判定負け(7/13)

小林慶行は3月のデビュー戦を勝利し第2戦目の対戦相手は福田勇輝選手(ワン・ツージム: 1勝2敗)。
 慶行の闘志は空回りしているように見えた。相手の福田選手の方が繰り出すパンチの数が多かった。4ラウンド判定結果は1ポイント差の3:0(39:38.39:38.39:38)だった。

スケジュール

- 7月20日 大橋実
- 7月22日 前川秀樹、斎藤司、鬼ヶ島竜、
- 8月10日 平井良維
- 8月19日 岩井大 東日本新人王4回戦

編集後記

6月26日~7月22日の1ヶ月間で三谷ジム所属の10選手が戦っています。13日までの前半を終えて4勝1敗1不戦です。ボクシングの勝負は一瞬で決まる場合があるので、観戦者は一瞬たりとも選手から目が離せません。後楽園ホールに暑い夏がやってきました。